

現場レポート

小学生が学ぶ「海の仕事」～八代港周辺で海事産業見学会～

○12月1日(金)、一般社団法人日本中小型造船工業会と熊本運輸支局の共催で、八代港周辺で熊本市立本荘小学校の5年生7名、先生2名を対象とした海事産業見学会を開催しました。今回の海事産業見学会では、一般社団法人日本中小型造船工業会の講師の方に来ていただいて、様々な船やその役割、船がどうやってできていくのかについての出前講座に加え、八代港周辺にある船舶を建造している熊本ドック(株)、船外機を製造しているヤマハ熊本プロダクツ(株)の組立工場、コンテナの荷役作業などを行う八代コンテナターミナルの見学を行いました。

○熊本運輸支局三角庁舎からのメッセージ

・久しぶりに熊本市内の小学校からの見学会の参加でしたが、「楽しみに待っていました」との先生の言葉どおり、とても関心を持って熱心に見学してくれました。

当日の天気は「曇り」冬型の気圧配置で熊本に寒気が流れこんでおり、お弁当休憩のときは児童に室内で食べるよう促しましたが、みんな元気いっぱい「これしきの寒さ、何するものぞ」といった感じで、寒いなか「くまもんポート八代」の屋外でお弁当を食べてから、元気よく遊んでいました。

・これからも、このような見学会を通して、海に囲まれた日本にとって、海事産業は重要で欠かせないものであり、その仕事の魅力を発信し続けていきたいと思えます。

○熊本ドック株式会社



「船の建造の流れ」を学ぶ



実際の造船の現場を見学

○ヤマハ熊本プロダクツ株式会社



「船外機の製造過程」を学ぶ



船外機の前で記念撮影

○八代コンテナターミナル



コンテナ冷蔵の仕組みの見学



最後に荷役後の船舶の出港を見送る